

電動3方ポイント N-PRL541/280-15 (F) / N-PLR541/280-15 (F) 共通説明書

Electric 3-way Points N-PRL541/280-15 (F)
Electric 3-way Points N-PLR541/280-15 (F)

このたびはトミックス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前にこの取り扱い説明書をよくお読みのうえ、取り扱いには十分注
意してお楽しみください。



NECST-neo (ネクスト・ネオ) は、音、光、動きなど、プレイバリューの拡大と充実を目指した
従来のネクストシリーズを進化させ、簡単確実な結線、操作性、機能性などがさらに向上した、
レール、制御機器グループです。これらの製品には、このマークが付いています。

⚠ 注意 (かならずお読みください)

この注意書きと、取り扱い説明書を必ず読んでからお遊びください。お子様の場合は保護者の方がお読みください。

- 商品特性上、この商品は15歳未満のお子様には適しません。15歳未満のお子様の場合は、保護者のもとでお遊びください。
- この商品には小さな部品が使われており、誤って飲み込むと思わぬ事故の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- コードを首にかけてぶざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息の危険があります。
- レールの先端などは機能上尖った部分があります。誤ってケガなどのないよう、取り扱いには注意してください。

- この製品を分解したり改造しないでください。思わぬ事故の危険があります。
- この製品を指定以外の制御機器と接続しないでください。思わぬ事故の危険があります。
- レール間をショートさせないでください。パワーユニットなどが発熱する恐れがあります。
- 脱線した場合、モーター・パワーユニットなどが発熱する恐れがありますので、ただちに電源を切ってから復旧させてください。また、運転を行わないときには、必ずコンセントからパワーユニットのプラグまたはACアダプターを抜いておいてください。
- 加工組み立ての際に出たクズは、すぐに捨ててください。

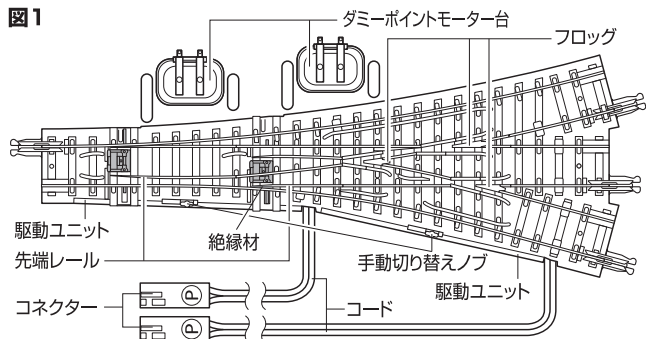
この説明書は必ず保管しておいてください。

■セット内容と各部の名称

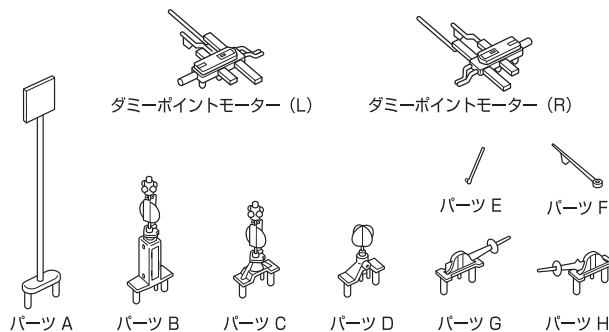
●セット内容

ポイントレール本体 (ダミーポイントモーター台付) 1本
ランナーパーツ (ダミーポイントモーターL、R) 2ランナー
ランナーパーツ (ダミーポイント標識、手動切り替え機) 2ランナー
ダミーポイント切り替え機用シール 1枚

●ポイントN各部の名称

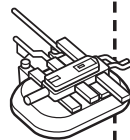


※図はN-PLR541/280-15 (F) ですが、N-PRL541/280-15 (F) も同様です。



●ポイントモーターとは……

実物は、ポイントレールを切り替えるための装置です。模型では取り付けなくても、機能的に問題はありません。よりリアルな形状をお楽しみいただく際にお取り付けください。



■模型取り扱い上のお願い

●使用上のご注意

1. 電動ポイントNの駆動には、必ず専用のネクスト・ネオシリーズパワーユニットN (※1) 及びポイントコントロールボックスN (※2) をご使用ください。ネクスト・ネオシリーズのポイントNは、駆動に必要な分だけ電気をチャージして使用する新方式を採用しているため、それ以外の電源をご使用になると、ポイントを破壊もしくはコイルをいため、著しく能力が低下する場合があります。

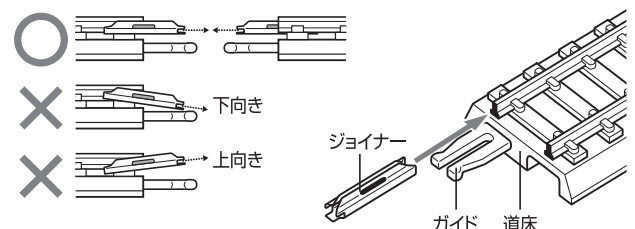
- ※1. 従来のトミックスパワーユニット (品番5001、5006、5040) + ネクスト・ネオシリーズコンバーターボックスN (品番5500) の組み合わせでもご使用になります。
- ※2. ポイント1台切り替え用のSと、2台同時切り替え用のWとがあります。ポイントの2台同時操作をする場合は、必ずポイントコントロールボックスN-Wをお使いください。
2. 先端レールを直接指などで動かしたり、無理な力を加えたりしないでください。変形して機能が損なわれるおそれがあります。
3. ポイントコントロールボックスNからコードを抜くときは、必ずコネクタ部を持って抜いてください。コードを持って抜くと断線のおそれがあります。
4. 湿気やホコリの多い場所、暖房器具の近くなど温度の高くなる所での使用や保管は、模型に悪い影響を与えますのでおやめください。
5. 注油しないでください。また、ボンドや水分やゴミ、チリなどがポイントにはいらないようご注意ください。作動不良や通電不良の原因となります。
6. 無理な力を加えて曲げたり、落としたり、上に重いものをのせないでください。故障の原因となります。
7. ポイントNの駆動には永久磁石を使用していますので、磁性体の近くでの使用はお避けください。動作が不安定になる場合があります。
8. ポイントN用駆動ユニットは必要時以外、むやみに着脱しないでください。故障の原因となります。
9. 固定式レイアウトでご使用の場合、駆動ユニット付近にバラストやストラクチャーなどを配置する場合は、駆動ユニットが交換できるよう、取りはずしを考慮のうえで配置してください。
10. 塗装される場合：駆動ユニット及びポイント作動箇所には塗料がかからないように注意してください。動きがにぶくなるおそれがあります。また、先端レールは切り替わる側のレールとの接触により通電する他、一部の先端レール側面には絶縁材が付いていますので、先端レールに塗料をかけたり、絶縁材をはがさないよう、ご注意ください。

レール道床の色は塗装方法上、バラつきがあります。ご了承ください。

●ジョイナーについて

- ①レールを接続する場合は、ジョイナーの向きを水平にしてください。
- ②ジョイナーがはずれた場合は、ジョイナーの向きに注意して取り付けてください。尖った部分などでケガなどないよう注意してください。

図2



●交換パーツリスト

ジョイナー 0110

●オプションパーツリスト

ギャップジョイナー 0111

■付属ダミーパーツの組み立てと取り付け方

ダミーポイントモーターのほか、標識、手動切り替え機があります。お好みのタイプをお選びください。なお、刃物などの工具を使用する際は、ケガなどないように十分にご注意ください。

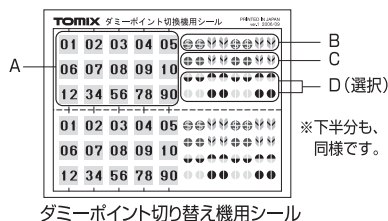
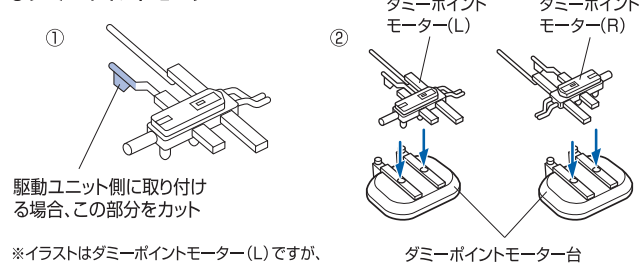
※ダミーパーツを取り付けなくても、機能的に問題はありません。

1. 本体から、ダミーポイントモーター台をニッパーなどできれいにカットします。
2. ランナーから、お好みのパーツをニッパーなどできれいにカットします。
3. シールをカッターなどで切り出し、下の図3を参照して、貼り付けます。
4. 図3を参照して組み立て、ダミーポイントモーター台に差し込みます。
5. 図4を参照して、ポイントレールに駆動ユニット側またはその反対側の横から差し込みます。(ダミーポイントモーターを選択し、駆動ユニット側に付ける場合は、図3の①を参照して、ダミーポイントモーターの一部をカットします。)

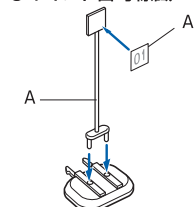
●付属ダミーパーツの組み立て方

図3

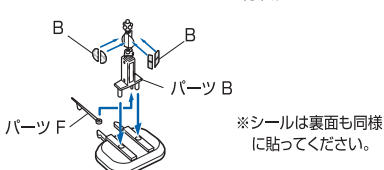
●ダミーポイントモーター



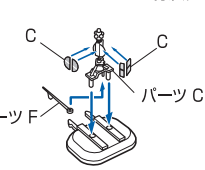
●ポイント番号標識



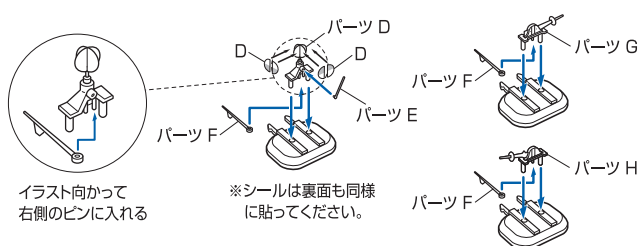
●ダミースプリングポイント標識



●ダミーポイント標識

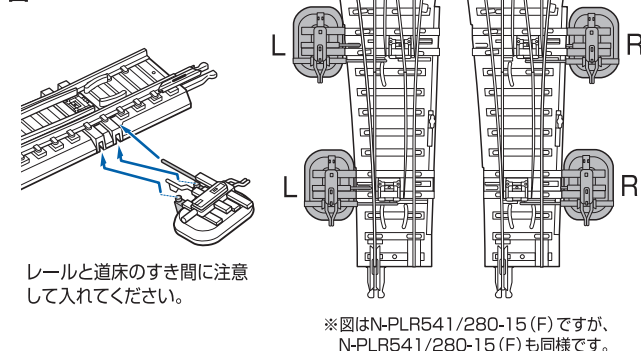


●ダミー手動ポイント切り替え機(3種)



●ダミーポイントモーター台の取り付け方

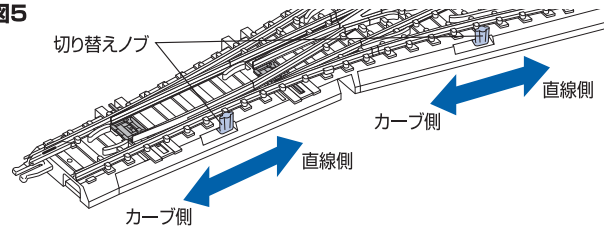
図4



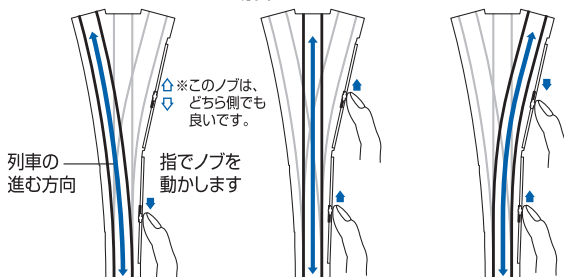
■手動でポイントを切り替える場合

図5のように切り替えノブを指でスライドすることにより、ポイントを切り替えることができます。

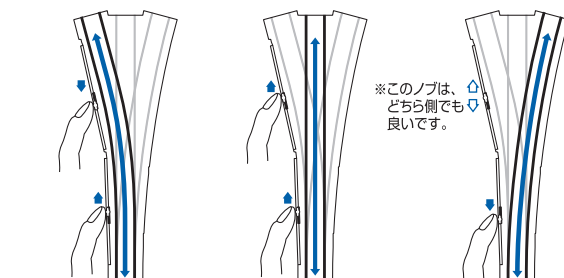
図5



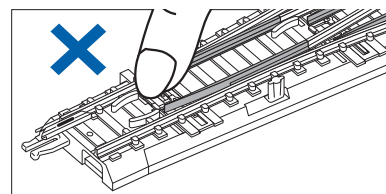
●N-PLR541/280-15の場合



●N-PRL541/280-15の場合



ポイントレールの先端レールは持ち上げたり、さわったりしないでください。



配線方法

パワーユニットNの電源スイッチがOFFになっているのを確かめ、パワーユニットNとポイントコントロールボックスNをサイドコネクタで接続します(図6)。次に本製品の駆動ユニットから出ているコードの先のコネクタをポイントコントロールボックスNのコネクタに差し込みます(図7)。なお、コードを抜き差しするときは、必ずコネクタ部を持って行なってください。コードを持って抜き差しを行なうと、断線のおそれがあります。

図6

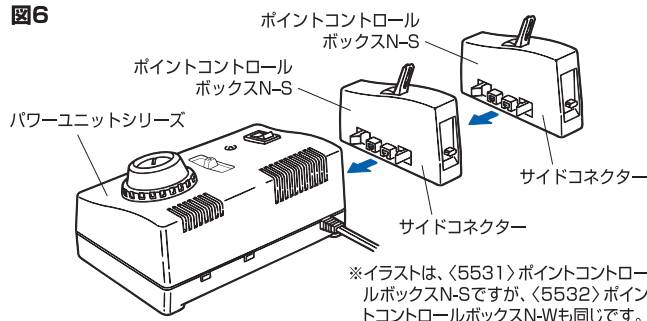
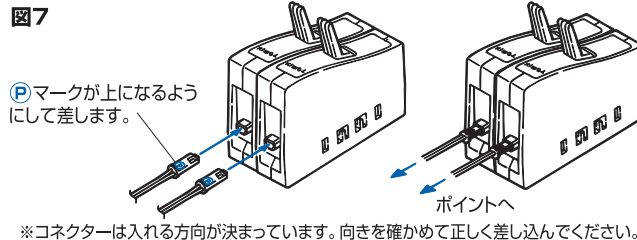


図7



電動ポイントの切り替え方法

ポイントの配線が終わったら、必ずリセット操作をしてください。リセット操作をしないと、ポイントとポイントコントロールボックスNの切り替え方向が一致しない場合があります。

リセット操作

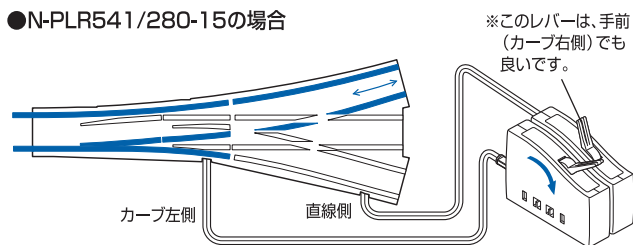
- 1.正しく配線されているのを確認し、パワーユニットNの電源をONにします。
- 2.切り替えは必ず**1秒以上の間隔をあげ**、ポイントコントロールボックスNのレバーを操作して2回（1往復）切り替えます。（1回目の切り替えのときはポイントが切り替わらない場合がありますが、異常ではありません。）
- 3.ポイントが正しく切り替わっていることを確認します。ポイントコントロールボックスNのレバーを手前に倒したときが分岐側、奥になっている場合が直線側です。（図8）

※配線した状態でポイントを手動で切り替えても壊れることはありませんが、コントロールボックスNの切り替え方向と一致しない場合があります。その場合は再度、リセット操作を行ってください。

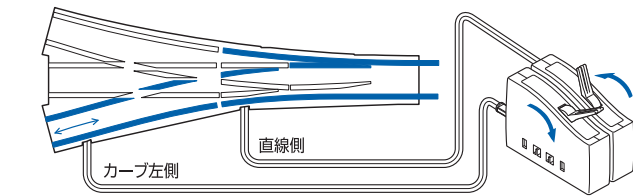
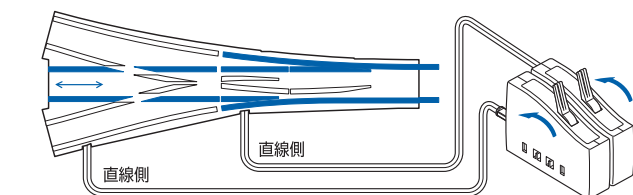
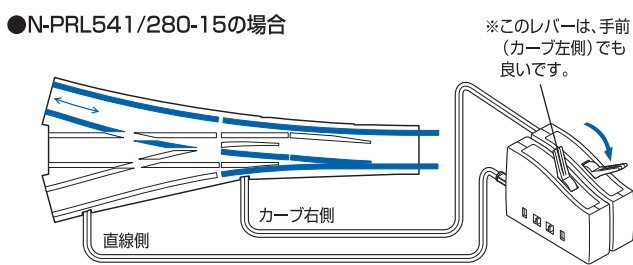
●ポイントの切り替え方向

図8

●N-PLR541/280-15の場合



●N-PRL541/280-15の場合



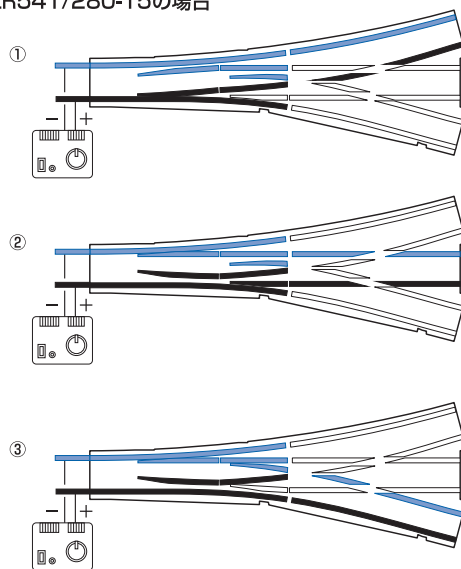
※ポイントの切り替えは1秒以上の間隔をあけてください。

●電気的構造（通電状態）

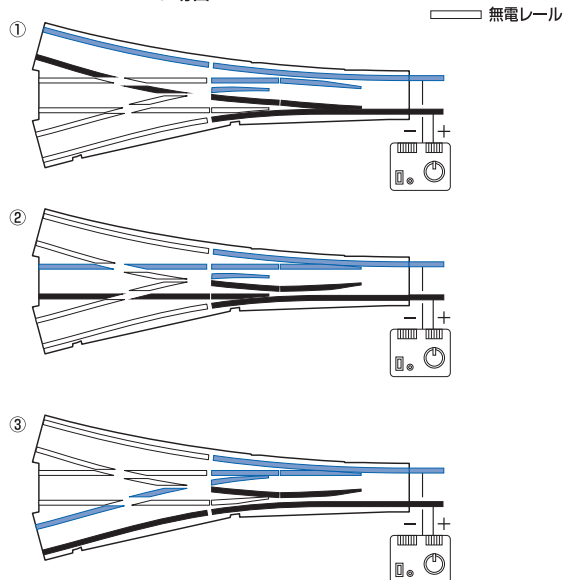
本製品は、電気的構造に「完全選択式」を採用しています。ポイントの中央部にはギャップが設けてあり、下の図9のように、先端レールが切り替わった先のレールへ電気を流し、切り替わっていない先のレールには、電気を流さない構造になっています。

図9

●N-PLR541/280-15の場合



●N-PRL541/280-15の場合



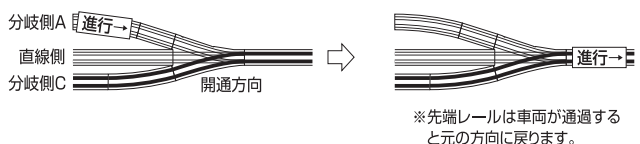
●スプリングポイント機能について

車両が分岐側Aからポイントに進入すると、車輪でポイントの先端レール（トンダレール）を押して通過することができます。

※分岐側Aが開通方向の場合も、同様に分岐側Bより進入できます。

注意：開通方向でない分岐側から進入した場合、必ず編成のすべてを通過させてください。途中で進行方向を変えると、脱線し、破損や思わぬ事故のおそれがあります。

図10



延長コードについて

レイアウトにより電動ポイントNのコードがポイントコントロールボックスNに届かない場合は、別売の<5814>延長コード（電動ポイントN用）をお使いください。なお、このとき継ぎ足す延長コードは5本以内としてください。延長コード1本の長さは、1.5mです。

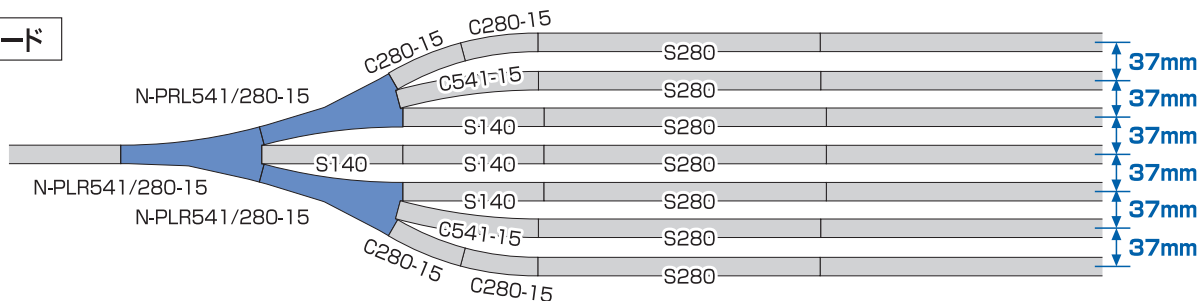
注意：間違い防止のため、延長コードのコネクタのリブカット（「●コネクタ逆差しの使い方」参照）はしないでください。

レイアウト例

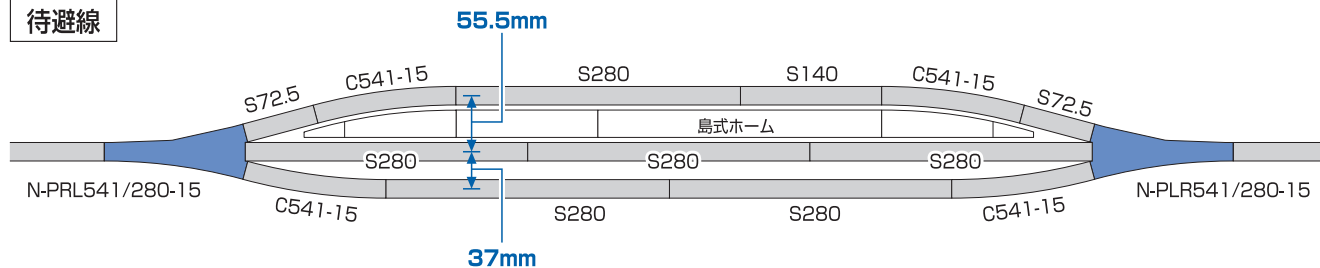
●ポイント使用時の寸法

図11

ヤード



待避線



※待避線として使用する場合、必ずN-PRL541/280-15 (F)とN-PLR541/280-15 (F)を向かい合わせてご使用ください。

駆動ユニットの交換方法

駆動ユニットを交換する場合は、別売の〈0107〉ポイントN用駆動ユニット (F)をお求めになり、下の図12を参照して交換してください。

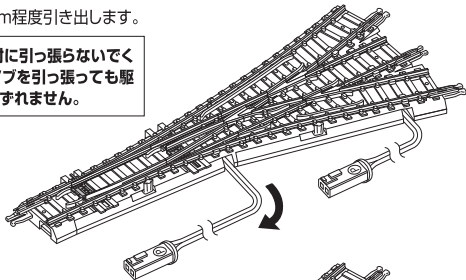
注意：切替ノブは絶対に引っ張らないでください。切替ノブを引っ張っても駆動ユニットははずれません。交換時には、ポイント駆動ユニットNのコイル部及びコイル線を傷つけないようにご注意ください。

図12

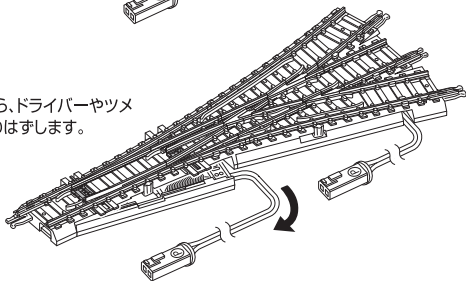
●取り出し方

①コードを引っ張り3mm程度引き出します。

注意：切替ノブは絶対に引っ張らないでください。切替ノブを引っ張っても駆動ユニットははずれません。

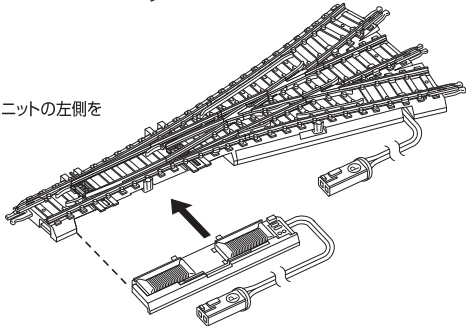


②駆動部のはしが出たら、ドライバーやツメなどを引っかけて取りはずします。



●取り付け方

ポイントのミソと駆動ユニットの左側を合わせて差し込みます。



※図はN-PLR541/280-15 (F) ですが、N-PRL541/280-15 (F) も同様です。
※パーツの交換説明はレール直線区間ですが、カーブ区間も同様です。

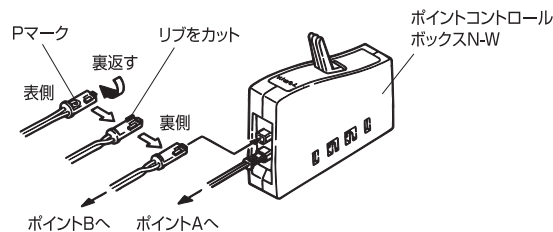
ダミーポイントモーターを取り付けている場合、駆動ユニットを取り出す前に、ダミーポイントモーターを取りはずしたうえで行なってください。

コネクター逆差しの使い方【上級者向け】

電動ポイントNのコネクターは、簡単な加工により逆差し（逆極性）でも使える構造となっています。逆差しを行うと図7において、ポイントコントロールボックスNのレバーの位置とポイントNの切り替わり方向が逆になります。

注意：逆差し防止リブは配線を簡単にし、誤配線避けるために付けられています。リブをカットした場合には、挿入の向きに十分注意してご使用ください。また誤配線避けるため、必要な場合以外には絶対にカットしないでください。

図13



逆差しが必要な場合に、加工せずに極性を反転させることのできる便利な、クロスコードもございます。

〈5817〉クロスコード（電動ポイントN用）

●消費電流

電動ポイントNの消費電流=150mA

※消費電流の合計計算をする場合、電動ポイントNは個数に関係なく150mAとなります。

※イラストなどは製品と一部異なる場合があります。

修理が必要な場合、あるいは故障箇所が不明なときは、お買い上げ店にご相談ください。
また、トミーテックへお問い合わせの場合は、
トミーテックお客様相談室 トミックス係
TEL : 03-3695-3161(代) までご連絡ください。

電話受付 月～金曜日(祝・休日除く) 10～17時

本製品のお客様サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限ります。
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

TOMYTEC 発売元
株式会社トミーテック
〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10